

議会報告



■ 予算等審査特別委員会(平成24年3月2日)

質問：近年、人工透析患者が増加していますが、原因となる慢性腎臓病の予防や早期発見に有効な「血清クレアチニン検査」を市民検診に導入すべき。

※「クレアチニン」とは筋肉中のたんぱく質が代謝された老廃物で腎臓機能が低下すると血液中に増加する。

答弁：平成19年までの基本健診で実施していたが、平成20年度から導入された特定健診で削除された。国の動向を注視しながら検討してまいりたい。

質問：不育症(妊娠が困難な「不妊症」とは異なり、妊娠はしても、流産や死産を繰り返す症状)の支援について、まだまだ認知度が低く、正確な情報提供と相談窓口の設置などを求める。

※患者数は全国で140万人と推計。適正な検査や治療を行えば約85%の患者が出産できるということです。

答弁：東北大学病院内に開設している不妊専門相談センターとも協議しながら、対応を検討してまいりたい。



■ 第1回定例議会・一般質問(平成24年2月27日)

質問：震災を受けたことによって、深刻の度を増している、空き家対策について、今後の街づくりに欠かせない重大な課題であるとの認識を持って取り組むべき。又、所有者に被災家屋の解体撤去支援制度等の情報提供を行い適正な管理を求める。

答弁：市民の安全安心の確保という観点から、重要な課題であると考えている。今後も所有者に対して、必要な措置を講ずるよう、文書等による指導や周知を継続し、対応してまいりたい。

質問：この春開館した「芦の口児童館」の周辺は、現在、長町八木山線の道路拡幅工事を行っており、交通量が多い。来館時における児童の安全確保に努めて頂きたい。

答弁：芦の口児童館の安全対策については、来館の際に通う道路が現在整備中であることもあり、小学校や関係機関等と引き続き協議してまいりたい。

その他の質問項目

- 児童クラブ有料化導入の保護者への説明会について
- 児童クラブの地域ニーズに対応した整備について
- 女性農業者の育成・支援について
- 復興計画の「農と食のフロンティアプロジェクト」に関連し、女性農業者の視点を活かした新たな農業実現を目指す取り組みについて



活動レポート

～女性の視点から見た 防災研修会に参加して～

3月25日公明党宮城県本部女性局主催の「女性の視点から見た防災研修会」に参加しました。竹谷とし子参議院議員が出席され、NPO法人イコールネット仙台の宗片恵美子代表理事の講演を伺いました。

避難所での洗濯代行ボランティア「せんたくネット」をはじめ、被災地の女性への支援に取り組んでこられた模様の紹介と、公明党女性局が昨年8月いち早く女性防災会議を立ち上げ、女性の視点からの防災行政総点検を行ない取り組んできたことを高く評価されていました。

会派(公明党仙台市議団)としても、避難所運営において女性への配慮に欠けているとの現状課題を踏まえて、防災会議への更なる女性登用・女性の地域防災リーダーの育成・女性の視点を取り入れた防災対策を訴えてきました。

今後も、災害時にこそ、生活に根づいた女性の力が必要であり、重要であるとの視点から全力でこの課題に取り組んで参ります！



■ 議会改革に真剣！

議員報酬の削減を実現

昨年9月の議会での費用弁償廃止に加えて、2月定例議会において議員報酬の削減を実現することができました。公明党仙台市議団は、以前より何度も震災復興の一助となるよう早期の実現を強く求めてきました。これからも「議会改革」の先頭に立って戦って参ります。

